

令和4年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R4-8)

施策名	目標3-2 大気生活環境の保全					
施策の概要	騒音・振動・悪臭の防止対策やヒートアイランド対策による大気生活環境の保全					
達成すべき目標	騒音・振動・悪臭の発生防止や、ヒートアイランド問題の改善により、良好な大気生活環境を保全する。					
施策の予算額・執行額等	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	140	131	121	125
		補正予算(b)	0	0	0	
		繰越し等(c)	0	0	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	140	131	(※記入は任意)	
	執行額(百万円)	133	120	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	○第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定) ○気候変動適応計画(平成30年11月27日閣議決定)					

測定指標	騒音に係る環境基準達成状況(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	-年度	
		-	89.4	89.0	89.5	89.6	集計中	100	△
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/	
	自動車騒音に係る環境基準達成状況(道路に面する地域)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	-年度	
		-	94.3	94.2	94.4	94.6	集計中	100	△
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/	
	航空機騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	-年度	
		-	81.4	81.5	89.3	87.9	集計中	100	△
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/	
	新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	-年度	
		-	56.7	58.7	60.8	55.5	集計中	100	×
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/	
	振動に係る全国の苦情件数(件)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度	
		-	3,399	3,179	4,061	4,207	集計中	-	-
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/	
悪臭に係る全国の苦情件数(件)	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度		
	-	12,573	12,020	15,438	12,950	集計中	-	-	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
熱中症予防サイトの閲覧数(アクセス件数:万件)	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度		
	-	3,000	2,900	4,800	4,400	4,700	-	-	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
暑熱環境測定結果提供機関数(施設)	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度		
	-	24	27	27	27	0	-	-	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
暑さ指数(WBGT)の認知度(Webアンケートベース)(%)	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度		
	-	-	43.9%	46.5%	44.9%	42.0%	-	-	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		

評価結果	目標達成度の測定結果	<p>(各行政機関共通区分) 進展が大きくない</p> <p>(判断根拠)</p> <p>○騒音に係る環境基準の達成状況は、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年は緩やかな改善傾向にあり、令和3年度の環境基準の達成状況は89.6%となっている。</p> <p>○自動車騒音について、令和3年度の道路に面する地域の騒音に係る環境基準の達成状況は94.6%となっている。</p> <p>○航空機騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年は改善傾向にあり、令和3年度の環境基準の達成状況は87.9%となっている。</p> <p>○新幹線鉄道騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年横ばい傾向にあったが、令和3年度の環境基準の達成状況は55.5%となっている。</p> <p>○振動に関する苦情件数は、近年横ばい傾向にあったものの、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うライフスタイルの変化を一因として、大きく増加した。その後、令和3年度は前年より増加した。</p> <p>○悪臭に関する苦情件数は、14年連続で減少傾向であったが、平成30年度以降増加傾向にシフトしている。</p> <p>○ヒートアイランド対策については、熱中症予防情報サイトのアクセス数は前年度より若干増加した値となった。</p> <p>○検討の結果、令和3年度より暑さ指数(WBGT)の認知度を測定指標とすることが妥当であるとの結論に達した。暑さ指数(WBGT)の認知度は横ばい傾向にあり、令和4年度は42.0%となっている。</p>			
	施策の分析	<p>○騒音に係る環境基準の達成状況は、近年、約90%で横ばいとなっている。引き続き目標達成に向けた取り組みが必要である。</p> <p>○自動車騒音について、道路に面する地域の騒音に係る環境基準の達成状況は、令和3年度は94.6%であり、目標達成に向け、今後の傾向について引き続き注視していく必要がある。</p> <p>○航空機騒音に係る環境基準の達成状況は、令和3年度は民間空港で89.3%、自衛隊等専用の飛行場(共用空港を含む)で86.6%であった。全体では87.9%であり、近年、緩やかに改善している。運航機種や本数等は時期や年度によって異なることから、今後の傾向について引き続き注視していく必要がある。</p> <p>○新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況は、令和3年度は55.5%である。発生源対策は鉄道事業者等により取り組まれているが、土地利用対策が十分に進んでいないことが考えられることから、今後の傾向について引き続き注視していく必要がある。</p> <p>○振動に関する苦情件数は、近年横ばい傾向にあったものの、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うライフスタイルの変化を一因として、大きく増加した。令和3年度は前年より増加しており、引き続き苦情件数の減少に向けた取り組みが必要である。</p> <p>○悪臭に関する苦情件数は、近年増加傾向にあり、令和3年度は前年度に比べ2,488件減少したが、典型7公害の中で上位の件数になっているため、引き続き苦情件数の減少に向けた取り組みが必要である。</p> <p>○熱中症警戒アラートや暑さ指数を活用したより一層の普及啓発が必要である。</p>			
	次期目標等への反映の方向性	<p>○騒音に係る環境基準については、引き続き高い達成率を維持しつつ、更なる達成率の向上に努めていく。</p> <p>○自動車騒音については、引き続き高い達成率を維持しつつ、更なる達成率の向上に努めていく。</p> <p>○航空機騒音については、引き続き測定を継続し、高い達成率を維持しつつ、更なる達成率の向上に努めていく。</p> <p>○新幹線鉄道騒音については、引き続き測定を継続するとともに、総合的な対策を推進し、更なる達成率の向上に努めていく。</p> <p>○振動に関する苦情件数については、更なる苦情件数の減少に努めていく。</p> <p>○悪臭に関する苦情件数については、更なる苦情件数の減少に努めていく。</p> <p>○熱中症対策推進事業の中で、熱中症警戒アラートを引き続き発表することで、暑さ指数を活用した効果的な熱中症予防行動を促す。</p>			
学識経験を有する者の知見の活用	<p>○「騒音・低周波音問題への対応及び実態調査検討会」、「鉄道騒音の評価に係る検討会」、「悪臭公害防止強化対策に関する検討会」、「新幹線鉄道騒音の測定・評価及び対策に関する検討委員会」等を開催し、学識経験を有する者のご意見を伺いながら検討を行った。</p>				
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<p>○各年度 騒音規制法施行状況調査(環境省)</p> <p>○各年度 振動規制法施行状況調査(環境省)</p> <p>○各年度 悪臭防止法施行状況調査(環境省)</p> <p>○各年度 自動車交通騒音実態調査報告(環境省)</p>				
担当部局名	水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室 モビリティ環境対策課	作成責任者名	筒井誠二(環境管理課長) 鈴木清彦(環境汚染対策室長) 酒井雅彦(モビリティ環境対策課長)	政策評価実施時期	令和5年8月